

## ほうれんそうのニセタマナヤガ（再同定による種訂正、新寄主）

平成 19 年度に新たに発生を認めた病害虫として報告した「ほうれんそうのシロイチモジヨトウ（新寄主）」について、発生を確認した個体が別種である可能性が生じたことから、保存されていた成虫標本の再同定を行った。成虫標本は外部形態及び開張計測より、ニセタマナヤガ *Peridroma saucia* (Hübner) と同定された。再同定結果に基づき従前の報告を以下のように訂正する。

平成 19 年 3 月、胆振地方のハウス栽培ほうれんそうに、鱗翅目幼虫が発生した。被害株は 50 株程度で、ハウス内の一角に集中し、株あたり最大で 5～6 頭の中令幼虫が寄生加害した。終令時の幼虫は体長 40mm 程度で、体色は褐色で腹部各節の背側面に黒色と黄色の細長い紋を一对もち、胸部後方から腹部前半にかけて正中線上に黄白色の小点をもつ。羽化成虫は開張約 40mm、翅は褐色から淡い赤褐色で、腎状紋・環状紋は暗褐色の輪郭をもつ。加害種は国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 植物防疫研究部門 吉松慎一博士により、ニセタマナヤガ *Peridroma saucia* (Hübner) と同定された。

（中央農試）



ニセタマナヤガの成虫標本（中央農試 荻野 原図）